

きゅうきつぽろびーるがいしゃこうじょう かいたくしびーるじょうぞうしよ
 旧札幌麦酒会社工場（開拓使麦酒醸造所）

【景観上の特徴】

旧札幌麦酒会社工場は、明治25年（1892年）にビールの醸造所として建てられた建物であり、札幌で製造が盛んに行われていた「れんが」を使用した建物です。

現在は、れんがの外壁や広場の煙突などが保存されるとともに、商業施設の一部として活用されています。

この建物が位置する創成川より東側一帯は、かつては様々な工場が建ち並ぶ工業地帯でした。また、建物の面する北3条通は、開拓使本庁舎と工業地帯を結ぶ重要な役割を担っていた通りであり、札幌市第2次都心まちづくり計画において「うけつぎの軸」として位置付けられています。

周辺建物の中でも一際大きな存在感を放つ旧札幌麦酒会社工場は、札幌市内外から多くの方が訪れる施設として賑わいをつくり出すとともに、開拓期の歴史を伝える札幌のランドマークとして、人々に親しまれています。

この建物は、地場建材を使用するなど札幌における開拓期の都市づくりに基づく景観特性を継承するとともに、札幌の開拓の歴史や文化を伝える風格ある景観をつくり出しており、「札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり」を表しています。

加えて、商業施設としてその役割を変えつつ工業地帯であった地域のかつての個性を今に伝える建物であり、ビールの醸造所であった特徴を生かした魅力的な景観を形成しており、札幌市景観計画に示す「地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり」を表しています。



登録年月日	令和2年（2020年）12月15日
所在地	札幌市中央区北2条東4丁目1-2
連絡・ 問い合わせ先	連絡先名：サッポロファクトリー インフォメーション TEL：011-207-5000
URL・資料	https://sapporofactory.jp/
備考	

令和2年（2020年）12月時点

旧札幌麦酒会社工場(開拓使麦酒醸造所)

位置図

